

# Asada

環境を守る親切ツール

高圧洗浄機 16/150G・GP  
高圧洗浄機 15/200G・GP  
高圧洗浄機 21/90G・GP

## 取扱説明書



高圧洗浄機 15/200G・16/150G・21/90G



高圧洗浄機 15/200GP・16/150GP・21/90GP

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

## 安全にご使用いただくために

このたびは、当社の高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。（本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります。）

## 警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、3つのレベルに分類されます。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。



爆発



ガス注意



高压水



火災



火気厳禁



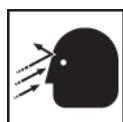
劇物



やけど



噴射



保護具  
着用



分解禁止



その他



取扱  
説明書

## 目次

安全にご使用いただくために .....	2
警告表示の分類 .....	2
記号 .....	2
目次 .....	3
安全上のご注意 .....	4
1. 製品構成 .....	8
1-1) 各部の名称 .....	8
1-2) 仕様・標準付属品 .....	10
1-3) 別販売品 .....	12
2. 使用方法 .....	13
2-1) 洗浄作業前の準備 .....	13
2-1-1) 使用環境 .....	13
2-1-2) 設置 .....	13
2-1-3) 燃料の補給 .....	13
2-1-4) エンジンオイルの確認 .....	14
2-1-5) ポンプオイルの確認 .....	14
2-1-6) ホース類の接続 .....	15
2-2) 運転 .....	17
2-2-1) 初めて使用する場合 .....	17
2-2-2) 始動方法 .....	18
2-2-3) 圧力調整の方法 .....	18
2-2-4) デュアルガンの操作方法 .....	19
2-2-5) 洗管ホースの操作方法 .....	19
2-2-6) 作業の終了 .....	20
3. 保守・点検 .....	20
3-1) エンジンの点検 .....	22
3-2) ポンプオイル点検 .....	22
3-3) ストレーナおよびラインストレーナの点検 .....	23
3-4) ノズルの清掃 .....	24
3-5) その他の点検作業 .....	24
4. 修理・サービスを依頼される前に .....	25

## 安全上のご注意

ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい一般的な注意事項を示します。  
作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

### 危険



◆ 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し2～3分間エンジンを冷却させてから、換気の良い場所で行ってください。

◆ 可燃性の液体（シンナーなど）やガスのある場所で使用しないでください。

☆ 点火プラグなどのスパークが爆発の原因になります。



◆ 燃料の補給中、燃料タンクの近くではタバコを吸ったり炎や火花などの火気を近づけないでください。

☆ 誤って引火しますと、爆発、火災の原因になります。



◆ 燃料をこぼさないように注意し、規定レベル以下に燃料を補給し、燃料キャップを確実に締めてください。

☆ 燃料キャップが締まっていないと、本機が転倒したときに燃料がこぼれて危険です。

☆ 燃料がこぼれたときは、すぐに布などで拭き取ってください。

◆ 本機を転倒させないよう、注意して使用してください。特に本機を移動させる際、注意してください。



◆ 高压ホースを持って強く引っ張らないで下さい。本機が転倒する原因になります。

◆ 酸素欠乏症や排気ガス中毒を防止するため、換気の良い場所に設置してください。

☆ 換気の悪い場所で使用しますと、酸欠で窒息する恐れがあります。

☆ 絶対に排気ガスを吸わないようにしてください。

☆ やむを得ず室内で使用する場合には、十分な換気が行われていることを確認してください。



◆ 修理技術者以外は絶対に分解しないでください。

◆ 改造は絶対に行わないでください。

☆ 異常な動作の原因となり、ケガや故障の原因となります。



◆ 薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナーなどの有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤、劇物、毒物などは絶対に使用しないでください。

☆ 思わぬ事故を招く原因になります。特殊な薬剤（薬品）などを使用される場合には、必ず販売店または弊社に問い合わせのうえ安全を確認してから使用してください。



## 危険



- ◆ ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けないでください。

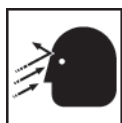
☆誤って噴射すると大変危険です。

☆本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。



- ◆ 運転中や停止直後は、エンジン本体やマフラーなどが大変高温になっています。使用後の部品交換・清掃・点検時は、必ずエンジンを停止し、2～3分間エンジンを冷却させてから行ってください。

☆火傷をする恐れがありますので、絶対に触れないでください。



- ◆ ガンのトリガーを引いたままの状態に固定しないでください。

☆不意にエンジンを始動させたときに、高圧水が噴射され危険です。

- ◆ 硝子などの粉碎されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意して行ってください。

☆対象物が粉碎、破壊されて飛び散り大変危険です。

## 警告



- ◆ 本書を事前によく読み、正しい取り扱い方法を十分にご理解のうえ、正しく操作してください。

- ◆ 本機を操作する前に、本書に記載されている「使用方法」の作業を行ってください。

- ◆ 間違いなく取り扱うため、各部の操作に慣れ、素早い停止方法を習得してください。



- ◆ エンジンに関する取り扱い方法は、付属のエンジン取扱説明書にしたがってください。

- ◆ 本書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。

☆事故や故障の原因になります。

- ◆ 本機を落としたりぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがいないか点検してください。

☆破損・亀裂・変形などがある状態で作業を行うと、けがや事故の原因になります。

- ◆ 関係者以外は作業場所に近づけないでください。特にお子様には十分注意し、絶対に触らせないでください。

- ◆ 疲労・飲酒・薬物などの影響で、作業に集中できないときは、操作しないでください。

## 警告



◆ 本機を操作しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、又は鍵のかかる場所に保管してください。

◆ 結果の予測できない、また確信の持てない取り扱いはしないでください。

◆ 本機を使用目的以外の用途に使用しないでください。

☆本機は一般洗浄作業に使用してください。装置や製造ラインに組み込み無人で使用することはできません。



◆ 噴射を止めエンジンを停止しても、ポンプ内や高压ホースには残留した高压水がありますので、一度トリガーを引いて内部の圧力を逃がしてください。

☆不意にトリガーが引かれると高压水が噴射して危険です。

◆ エンジンの排気口をふさいだり、周辺に物を置かないようにしてください。

☆火災の原因になります。



◆ ガンの取り扱いには十分注意し、不意の噴射による事故防止に心がけてください。

◆ 本機から離れるときや、保守・点検のときにはエンジンを停止してください。

☆思わぬ事故の原因になります。



◆ 目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

☆噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあり危険です。

◆ 作業場所は整理整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。

☆作業環境が悪いと事故の原因になります。

## 注意



◆ 水道に直結して使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規則を受ける場合があります。

☆詳細については、所轄の自治体にお尋ねください。

◆ 泥水などは使用しないで、必ず清水を使用するようにしてください。

☆ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。

◆ 冬季など、0℃以下になる場所では、必ず水抜きを行ってください。また、0℃以上の屋内に保管するようにしてください。

☆ポンプが凍結して損傷する恐れがあります。



◆ 圧力調整は必ず所定の範囲内で行うようにしてください。

☆上げ過ぎや下げ過ぎは故障の原因になります。

◆ 本書のP21『保守・点検』に従い、各部の保守点検を行ってください。

## 注意

- ◆本機の異常（異臭・振動・異常音など）に気づいたときは、ただちに運転を停止し、本書のP26『修理・サービスを依頼される前に』を参照してください。また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。

☆修理はお買い上げの販売店または、弊社支店、営業所へお申し付けください。



- ◆運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、1分間に5滴程度までの水漏れは故障ではありません。

☆それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店または弊社へ連絡してください。

- ◆長期間（30日以上）使用しない場合は、燃料を完全に抜いて保管してください。

☆上記を実施せず保管すると、エンジンが始動しないことがあります。

- ◆通常、エンジン始動後10秒間程度で吸水します。それ以上経過しても吸水しない場合は、異常が想定されますので運転を中止して原因を調べてください。（P26『修理・サービスを依頼される前に』を参照）

- ◆作業前には、必ずデュアルガン・高圧ホース・洗管ホースなど各付属品を点検してください。

☆これらの付属品に損傷があった場合、高圧水が噴出します。特に洗管ホースに損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、配管内に部品が残る場合があります。

# 高圧洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

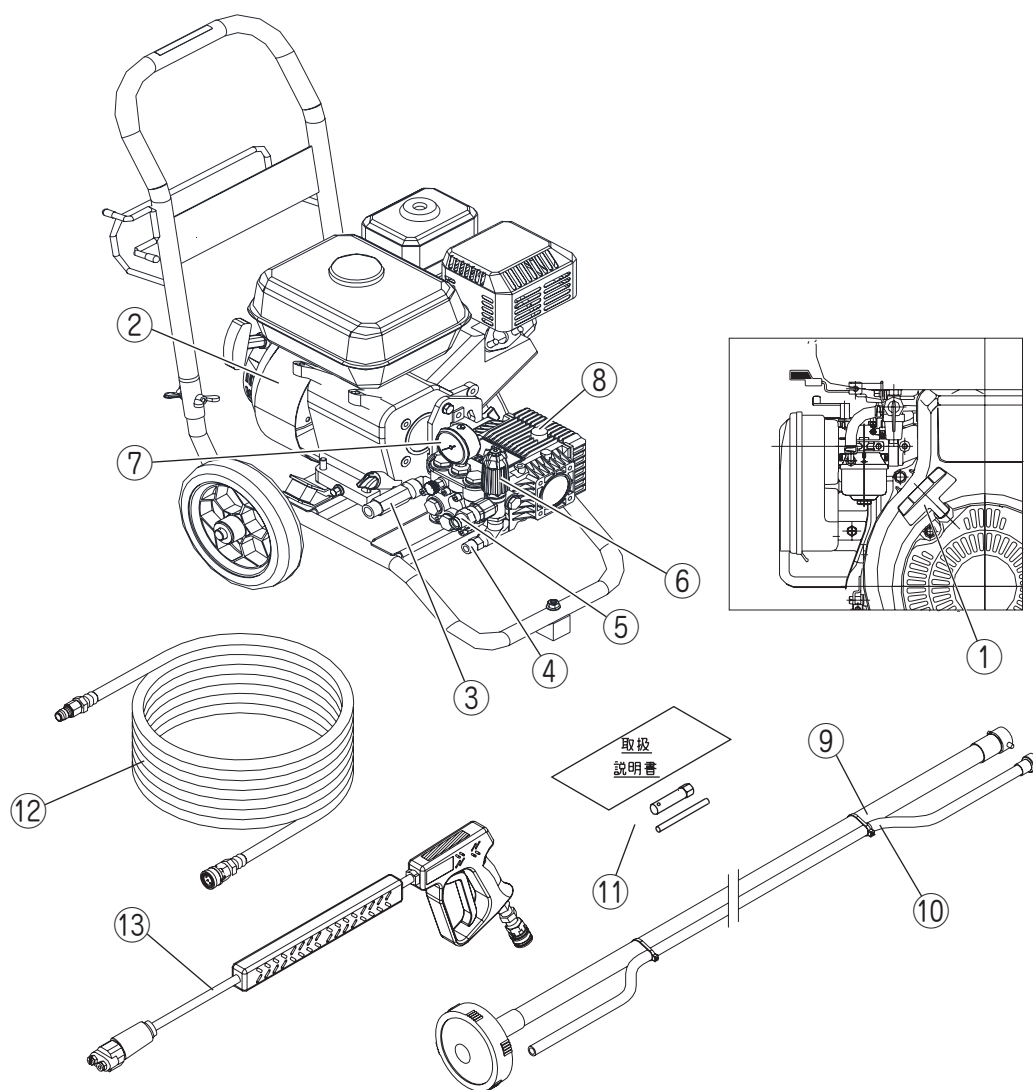
## 1. 製品構成

1-1) 各部の名称

1-1-1) 各部の名称 (高圧洗浄機□□ / □□□ G) (図1)

本機には、危険・警告・注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたり見づらくなつた場合には弊社へ請求してください。そして、必ず同じ場所に貼付してください。

図1. 各部の名称 (高圧洗浄機□□ / □□□ G)



- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| ①スタータノブ | ⑤吐出口    | ⑨吸水ホース   |
| ②エンジン   | ⑥圧力調整ノブ | ⑩余水ホース   |
| ③余水口    | ⑦圧力計    | ⑪エンジン用工具 |
| ④吸水口    | ⑧ポンプ    | ⑫高圧ホース   |
|         |         | ⑬デュアルガン  |

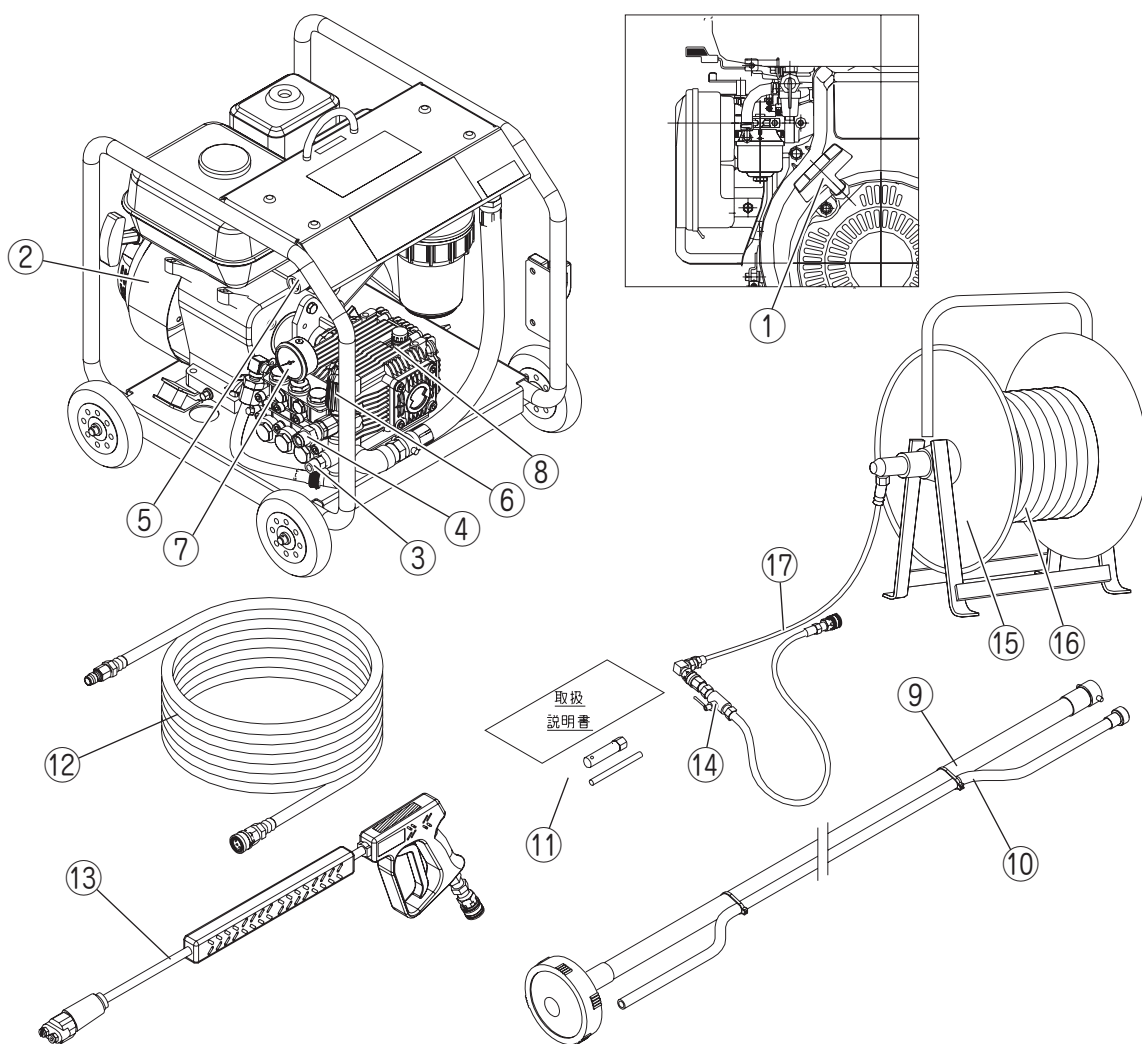


# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 1-1-2) 各部の名称 (高圧洗浄機□□ / □□□ GP) (図2)

本機には、危険・警告・注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたり見づらくなつた場合には弊社へ請求してください。そして、必ず同じ場所に貼付してください。

図2. 各部の名称 (高圧洗浄機□□ / □□□ GP)



- |         |          |            |
|---------|----------|------------|
| ①スタータノブ | ⑦圧力計     | ⑬デュアルガン    |
| ②エンジン   | ⑧ポンプ     | ⑭洗管用コックキット |
| ③余水口    | ⑨吸水ホース   | ⑮ホースリール搭載用 |
| ④吐出口    | ⑩余水ホース   | ⑯洗管ホース3/8  |
| ⑤吸水口    | ⑪エンジン用工具 | ⑰中間ホース     |
| ⑥圧力調整ノブ | ⑫高圧ホース   |            |

# 高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 1-2) 仕様・標準付属品

### 1-2-1) 仕様 (高压洗浄機□□ / □□□ G)

品名		高压洗浄機 16/150G	高压洗浄機 15/200G	高压洗浄機 21/90G
コード No.		HD1615G2	HD1520G2	HD2109G2
ポンプ	圧力	14.7MPa	20MPa	8.8MPa
	水量	16L/min	15L/min	21L/min
エンジン	形式	空冷 4 サイクルガソリンエンジン		
	総排気量	270cc		
	定格出力	5.1kW (6.9PS)		
	最大出力	6.3kW (8.5PS)		
	始動方式	リコイルスタータ式		
使用燃料		無鉛レギュラーガソリン		
大きさ		L760 × W494 × H778mm		
質量		50.4kg		

### 1-2-2) 標準付属品 (高压洗浄機□□ / □□□ G)

高压洗浄機 16/150G、15/200G	
コードNo	部品名
—	本体
HD03003	高压ホース 3/8 20m
HD20173	吸水ホース組 1/2 3m
HD04002	デュアルガン (16/150のみ)
HD06002	デュアルガン (15/200のみ)
—	高压洗浄機取扱説明書
—	エンジン取扱説明書
—	エンジン工具セット

高压洗浄機 21/90G	
コードNo	部品名
—	本体
HD03003	高压ホース 3/8 20m
HD20174	吸水ホース組 3/4 3m
HD08002	デュアルガン
—	高压洗浄機取扱説明書
—	エンジン取扱説明書
—	エンジン工具セット

# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 1-2-3) 仕様 (高圧洗浄機□□ / □□□ GP)

品名	高圧洗浄機 16/150GP	高圧洗浄機 15/200GP	高圧洗浄機 21/90GP
コード No.	HD1615P2	HD1520P2	HD2109P2
大きさ	L610 × W616 × H1030mm		
質量	67.4kg		

※エンジン他の仕様については、高圧洗浄機□□ / □□□ G と同じです。

※仕様は予告なく変更する場合があります。

## 1-2-4) 標準付属品 (高圧洗浄機□□ / □□□ GP)

高圧洗浄機 16/150GP、15/200GP	
コードNo	部品名
—	本体
HD03003	高圧ホース 3/8 20m
HD20173	吸水ホース組 1/2 3m
HD04002	デュアルガン (16/150GP のみ)
HD06002	デュアルガン (15/200GP のみ)
HD20518	ホースリール搭載用
HD30005	洗管ホース 3/8 20m
HD03021	洗管用コックキット
HD225	逆噴射ノズル 3/8 (16/150GP のみ)
HD257	逆噴射ノズル 3/8 (15/200GP のみ)
—	高圧洗浄機取扱説明書
—	エンジン取扱説明書
—	エンジン工具セット

高圧洗浄機 21/90GP	
コードNo	部品名
—	本体
HD03003	高圧ホース 3/8 20m
HD20174	吸水ホース組 3/4 3m
HD08002	デュアルガン
HD20518	ホースリール搭載用
HD03244	洗管ホース 3/8 20m
HD03021	洗管用コックキット
HD248	逆噴射ノズル 3/8
—	高圧洗浄機取扱説明書
—	エンジン取扱説明書
—	エンジン工具セット

# 高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 1-3) 別販売品

部 品 名	高压洗浄機 15/200G・GP	高压洗浄機 16/150G・GP	高压洗浄機 21/90G・GP
ホースリール別置用		HD03020	
ねじ式洗管ホース組 3/8 20m		HD03244	
ねじ式洗管ホース組 3/8 30m		HD03245	
ねじ式洗管ホース組 3/8 40m		HD03246	
ねじ式洗管ホース組 3/8 50m		HD03247	
逆噴射ノズル M 型 3/8	HD04056	HD06063	HD08057
逆噴射ノズル M2 型 3/8	HD04057	HD06064	HD08058
逆噴射ノズル T 型 3/8	HD04058	HD06065	HD08059
逆噴射ノズル T 型前方 1 穴型 3/8	HD04066	HD06070	HD08067
ねじ式洗管ホース 1/4 10m		HD03210	
ねじ式洗管ホース 1/4 20m		HD03212	
ねじ式 SUS 洗管ホース 1/4 10m		HD03218	
ねじ式 SUS 洗管ホース 1/4 20m		HD03220	
ねじ式 PU 洗管ホース 1/4 10m		HD03226	
ねじ式 PU 洗管ホース 1/4 20m		HD03228	
ねじ式 PS 洗管ホース 1/4 10m		HD03234	
ねじ式 PS 洗管ホース 1/4 20m		HD03236	
逆噴射ノズル M 型 1/4		HD38121	HD08050
逆噴射ノズル M2 型 1/4		HD38122	HD08051
逆噴射ノズル T 型 1/4		HD38123	HD08052
逆噴射ノズル T 型前方 1 穴型 1/4	HD38130	HD04063	HD08064
スズランノズル M 型 1/4		HD38125	HD08054
スズランノズル M2 型 1/4		HD38126	HD08055
スズランノズル M2 型 (ピンタイプ) 1/4	HD38127	HD04055	HD08056
バリアブルガン	HD04001	HD06001	HD08001
デュアルガン	HD04002	HD06002	HD08002
ハンドガン	HD04004	HD06004	HD08005
残水処理キット	HD04005	HD06005	HD08006
水道直結ホース		HD013	—

※洗管ホース組には洗管用コックキットが含まれます。

## 2. 使用方法

### 2-1) 洗浄作業前の準備

#### 2-1-1) 使用環境

次の使用環境を十分考慮して、『洗浄作業前の準備』・『運転』を行ってください。

- 直射日光が当たる場所、雨中、内部に水が入りやすい場所では使用しないでください。
- 本機は排気ガスを出します。密閉された部屋で使用しないでください。また、やむを得ず屋内で使用する場合には吸排気口(吸排気ファン)を取り付けてください。
- ガソリンなどの可燃物が存在する付近では使用しないでください。
- 本機を設置して使用する場合には、保守・点検が容易に行える場所に設置してください。
- 使用する燃料は、必ず新鮮な自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- 各ホース類や接続部に異常がないことを確認してから運転するようにしてください。

#### 2-1-2) 設置

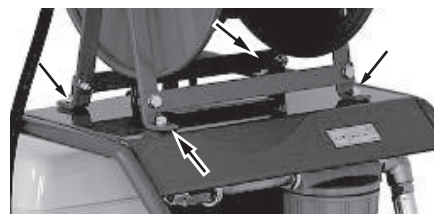
### ⚠ 注意



- ◆ 換気が不十分な場所、オイルや燃料漏れのある場所、引火性ガスがある場所などには、絶対に設置しないでください。
- ◆ 本機は重量物です。フォークリフトなどで運搬するようにし、人力での上げ下げや吊金具での吊り下げは行わないでください。

- 設置する床が丈夫で水平であり、水はけの良い場所に設置ください。
- キャスタに回り止めなどの処置を実施し、不意の移動がないようにしてください。
  - ① 台車のハンドル取付部にハンドルを差し込んでください。
  - ② ハンドル固定ねじで確実に固定してください。固定が緩いと、エンジンの振動でハンドル固定ねじがはずれます。
- 15/200GP、16/150GP、21/90GPは、搭載型ホースリールを洗浄機本体の上に載せ、ボルトとナットでホースリールをしっかりと固定してください。(図3)

図3. 搭載型ホースリールのボルト位置(4か所)

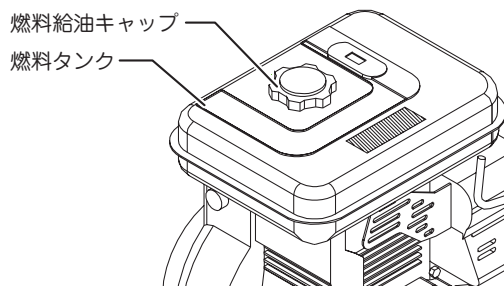


# 高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 2-1-3) 燃料の補給

- 本機を購入した直後は燃料タンクに燃料が入っていません。エンジン取扱説明書にしたがって、ガソリンを補給してください。(図4)
- 燃料は新鮮な自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- 燃料を補給する場合は必ずエンジンを停止した状態で周囲に火気がないことを確認してください。
- 万一燃料が周囲にこぼれてしまった場合は、必ず拭きとってください。

図4. 燃料タンク



## ⚠ 危険

- ◆ 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し2～3分間エンジンを冷却させてから、換気の良い場所で行ってください。
- ◆ ガソリンの補給後は、タンクキャップを確実に締めてください。  
☆ 漏れたガソリンに引火し、火災・爆発を起こす恐れがあり危険です。
- ◆ 入れすぎは危険ですので、規定レベルよりやや控えめに入れてください。
- ◆ 燃料の補給は、火気のない状態で行ってください。  
☆ ガソリンの補給中は、付近でタバコを吸っている人など火気がないことを確認してください。引火し、火災・爆発を起こす恐れがあり危険です。



# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 2-1-4) エンジンオイルの確認

- 本機のエンジンオイルは、出荷時に給油されています。初めて運転する場合には、念のためエンジン取扱説明書にしたがって、エンジンオイルの確認を行ってください。(図5)
- エンジンオイルが不足している場合は、エンジン取扱説明書にしたがって補給してください。
- また、エンジンオイルが汚れたり白濁化している場合は、エンジン取扱説明書にしたがって交換してください。
- 出荷時に給油されているエンジンオイルはSAE 10W-30クラス品です。このエンジンオイルは、低温時(気温が-20℃)から高温時(気温が40℃)まで広範囲で使用できますが、特に低温・高温地域でご使用の場合には、図6を参照してエンジンオイルを選定してください。

図5. エンジンオイル量

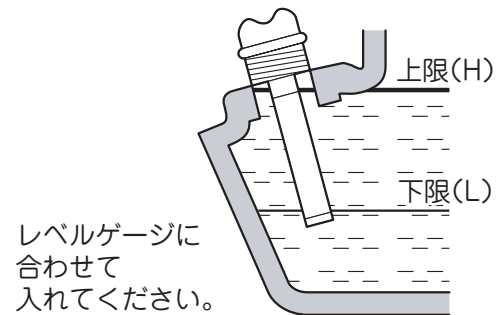
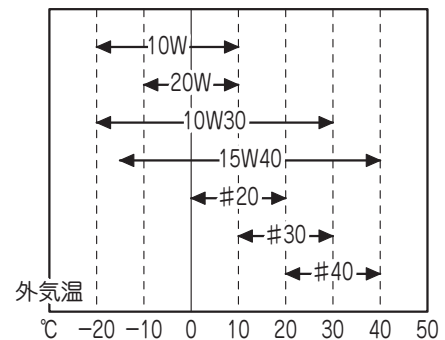


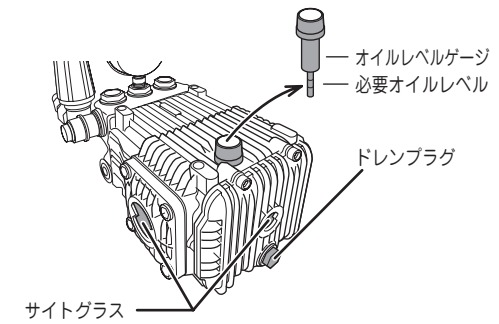
図6. 潤滑油粘度表 (SAE 分類)



## 2-1-5) ポンプオイルの確認

- 本機のポンプオイルは、出荷時給油されています。初めて運転する場合には、念のためオイルレベルゲージでポンプオイルが適正量給油されていることを確認してください。(図7)
- ポンプオイルが不足している場合は、補給してください。
- ポンプオイルが汚れたり白濁化している場合は交換してください。
- ポンプオイルは自動車用エンジンオイルを使用し、適量は約0.4Lです。
- 出荷時に給油されているポンプオイルはエンジンオイルと同じSAE 10W-30クラス品です。補充・交換される場合は図5にしたがって、最適なエンジンオイルを選定してください。

図7. ポンプオイルの確認



## 2-1-6) ホース類の接続

### 注意



◆泥水などは絶対に使用せず、必ず清水を使用してください。

☆ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。

◆接続は確実に実施してください。

☆接続が不十分である場合、高压水が噴出して危険です。

◆ロックは必ず実施してください。

☆不意に接続がはずれた場合、けがをする恐れがあります。



◆接続時に、各金具に取り付けられているパッキン類に損傷がないことを確認してください。

☆パッキン類に損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、高压水が噴出して危険です。

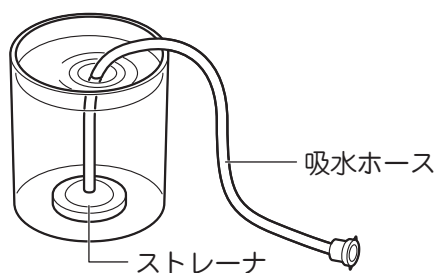
◆高压ホースを接続したまま、強く引っ張らないでください。

☆接続部がゆるんで圧力漏れの原因になります。

### A. 吸水ホース他の接続

- ① 吸水ホースを本体の吸水口へ確実に接続してください。
- ② 吸水口内にラインストレーナが挿入されていることと、吸水ホース金具にパッキンが入っていることを確認してください。  
☆パッキンが入っていないと吸水しません。
- ③ ストレーナは、完全にタンク内へ沈めて空気を吸わないようにしてください。浮いていると空気を吸って十分な性能が発揮されません。(図8)

図8. ストレーナの使用方法



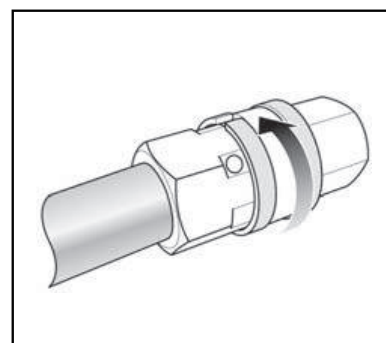
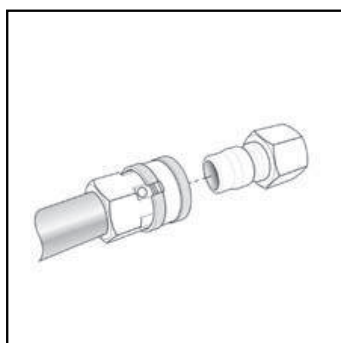
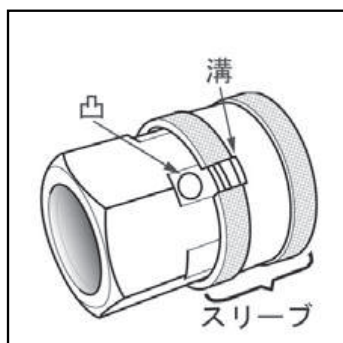


# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## B. 高圧ホース・デュアルガンの接続（図9）

- ① 高圧ホースのメスカプラの溝と凸部分を合わせてスリーブを引き、ポンプ吐出口に挿入し、スリーブを戻します。
- ② スリーブを回し、カプラをロックします。
- ③ ガン根本のメスカプラの溝と凸部分を合わせてスリーブを引き、高圧ホースに挿入し、スリーブを戻します。
- ④ スリーブを回し、カプラをロックします。

図9. カプラの接続方法



## ⚠ 危険



◆ 接続は確実に実施してください。

☆接続が不十分である場合、高圧水が噴出して危険です。

◆ ロックは必ず実施してください。

☆不意に接続がはずれた場合、けがをする恐れがあります。

◆ 接続時に、各金具に取り付けられているパッキン類に損傷がないことを確認してください。

☆パッキン類に損傷がある場合、能力が発揮されたにだけでなく、高圧水が噴出して危険です。

◆ 高圧ホース、デュアルガンを接続したまま強く引っ張らないでください。

☆接続部がゆるんで圧力漏れの原因になります。

◆ ガンのトリガーを引いたままの状態での固定しないでください。

☆不意のエンジン始動時に高圧水が噴射され危険です。

## C. 吸水ホース他の接続（高圧洗浄機□□ / □□□ GP のみ）

- ① ホースリールと中間ホースを接続してください。
- ② 中間ホースと洗管用コックキットを接続してください。
- ③ 洗管用コックキットと本機の吐出口を接続してください。

## 2-2) 運転

### 危険



- ◆目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

☆作業中は、噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくる場合があります。

- ◆ガラスなどの粉碎されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意してください。

☆対象物が粉碎、破壊され飛び散る恐れがあり大変危険です。



- ◆通常、エンジン始動後10秒程度で吸水します。それ以上経っても吸水しない場合は、異常が想定されますので、運転を中止して原因を調べてください。(P26『修理・サービスを依頼される前に』を参照)

- ◆作業前には、高压ホース、デュアルガンなどの各付属品を点検してください。

☆これらの付属品に損傷があった場合、損傷部分から高压水が噴射され、思わぬ事故を招く恐れがあります。また、洗管ホース(別販売品)に損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、パイプ内に部品が残ってしまう場合があります。



- ◆ガンのトリガーを引いたままの状態に固定しないでください。

☆エンジン始動時に不意に高压水が噴射され危険です。

- ◆ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けしないでください。

☆本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。

- ◆洗管用コックキットのバルブを開いた状態でエンジンを始動すると急に洗管ノズルから高压水が噴射し、大変危険です。

- ◆エンジン停止直後のエンジンオイルは高温になっています。オイル交換の際は十分に注意してください。

☆火傷をする恐れがあります。

### 2-2-1) 初めて使用する場合

新しいうちは各部がなじんでいませんので、無理な使い方をすると洗浄機の寿命を短くします。運転開始後約20時間までは慣らし運転期間として次のことを守ってください。

- ① 始動後、約2～3分間はエンジンが暖まるまで暖機運転を行ってください。
- ② 慣らし運転期間は、エンジンに無理な負荷がかからないようにし、過負荷運転はさけてください。
- ③ 運転開始後約20時間目のエンジンが暖かいうちに、第1回目のオイル交換を行ってください。  
☆オイル交換はエンジンが暖かいうちに行わないと古いオイルが完全に排出されません。
- ④ その後のオイル交換は約50時間ごとに行ってください。

# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 2-2-2) 始動方法

- ① エンジンの始動方法は、エンジンの取扱説明書に従ってください。
- ② この高圧洗浄機には自動エア抜装置が装備されていますので、エア抜作業は必要ありません。
- ③ GPタイプの高圧洗浄機のエンジンを始動する場合は、必ず洗管用コックキットのバルブを閉じておいてください。
- ④ エンジン始動時の各種レバーの位置は右の通りです。(図10、11)
- ⑤ エンジンが始動したら、余水ホースから水が出ていることを確認して暖機運転(約2~3分間)を行った後、エンジンのスロットルレバーを全開にしてください。そして再度、余水ホースから水が出ていることを確認してください。
- ⑥ 噴射を行わずにエンジンを運転し続ける場合は、必ずエンジンのスロットルレバーを低速側に戻して低速運転を保持してください。

● 必ず吸水し続け、ポンプをドライの状態では運転しないようにしてください。

図10. エンジン始動位置1

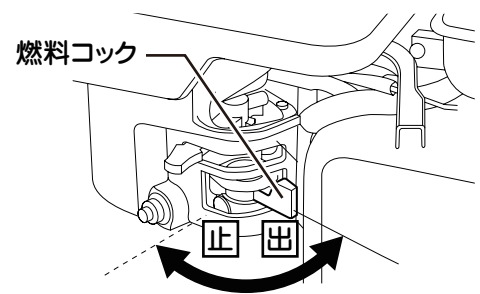
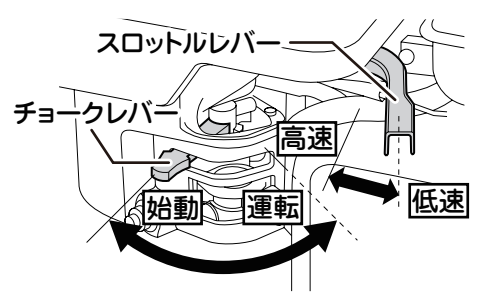


図11. エンジン始動位置2



## 2-2-3) 圧力調整の方法

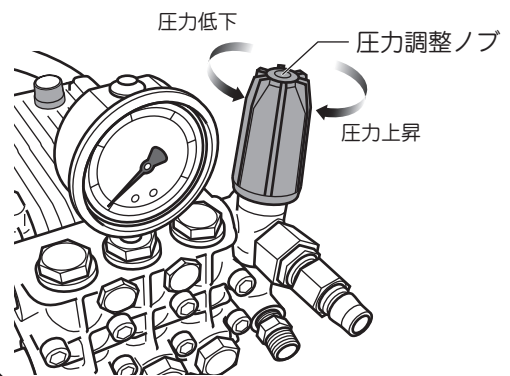
### 注意



- ◆ 圧力は、出荷時に調整して規定圧力になっています。この圧力以上に上げないでください。(P. 10『仕様』参照)
- ◆ 圧力調整を行った後は、必ず付属の圧力計で圧力の確認を実施してください。圧力が1.9MPa~最高圧力(P. 10『仕様』参照)の範囲にあることを確認してください。規定外の圧力で運転を行うと洗浄機が故障するばかりでなく、事故につながる恐れがあります。

- ① 圧力の調整は、必ずエンジンを停止させ、ガンのトリガーを一度引いてポンプ内、高圧ホース内の圧力を抜いてから行うようにしてください。
- ② 圧力を上げるには、圧力調整ノブを右回転(時計方向)させ、圧力を下げるには、圧力調整ノブを左回転(反時計方向)にします。(図12)
- ③ エンジンのスロットルレバーを低速側に戻すことによって、吐出水量を減らして圧力を下げることができます。

図12. 圧力調整



# 高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 2-2-4) デュアルガンの操作方法

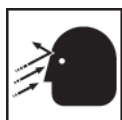
### ⚠ 危険



◆絶対にひもや針金でトリガーを引いた状態のまま固定しないでください。

☆不意のエンジン始動時に高压水が噴射され危険です。

◆運転作業中以外は、トリガーのストッパーレバーを使用し、不意にトリガーが引かれることのないようにしてください。



☆転倒などした場合に誤って噴射されることを防ぎます。

◆ノズル先端をのぞき込まないでください。

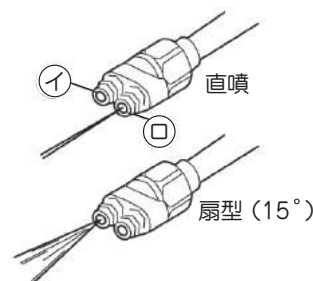
☆不意の噴射で失明する恐れがあります。

- ①トリガーを引くと噴射し、トリガーを戻す（放す）と噴射が停止します。
- ②デュアルガンは直噴射と扇形噴射のどちらかを選ぶことができます。（図13）

☆高、低圧の切替はできません。

- ③噴射前に、ガンを右側に傾けて噴射すると“□”のノズルから直噴射されます。
- ④噴射前に、ガンを左側に傾けて噴射すると“イ”のノズルから扇形噴射されます。  
☆一度噴射を始めるとトリガーを戻し（放し）て噴射が停止されるまで、そのノズルからの噴射が続きます。
- ⑤噴射パターンは、作業によって使い分けてください。

図13. ガンの操作方法



## 2-2-5) 洗管ホースの操作方法（高压洗浄機□□ / □□□ GPのみ）

### ⚠ 注意



◆洗管ホースをホースリールから引き出すときに、強く引っ張らないでください。本機が転倒する原因になります。

◆洗管ホースを引き戻すときに、エルボなどの継手に引っかかることがあります。この場合に無理に引っ張ると先端の逆噴射ノズルが外れたり、ホースが破損する恐れがあります。引っかかった場合には、前進、後退を繰り返してください。

◆洗管ホースは柔らかいホースですので、極力エッジなどのとがった部分へ接触させないようにしてください。

- ①逆噴射ノズルからの噴射は、洗管用コックキットのバルブ開閉によって行われます。
- ②洗管用コックキットのバルブを開く（レバーとホースが同じ方向）と噴射が始まり、バルブを閉じる（レバーとホースが直角方向）と噴射が停止します。
- ③バルブを開く前に、洗管ホースの先端（逆噴射ノズル）を洗浄対象のパイプの中に1m以上挿入します。
- ④洗管ホースをしっかりと保持して、洗管用コックキットのバルブを開き噴射させます。
- ⑤洗管ホースを洗浄対象のパイプの中に挿入、前後させて洗浄を行います。

## 2-2-6) 作業の終了

### 危険



◆ 噴射後エンジンを停止しても高圧ホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。

☆ 不意にトリガーが引かれた際、高圧水が噴射され危険です。

☆ 残圧が残っていると機械が始動しないことがあります。



◆ 洗浄作業中はエンジンを停止しないでください。必ず、1～2分程度の無負荷運転を実施してから、エンジンを停止させてください。

☆ 作業中にエンジンを停止させますと、急激にエンジンの温度が上昇し、本機の寿命が短くなります。



☆ 排気消音器内で、未燃焼のガソリンに引火して爆発音がでたり、炎が噴出する場合がありますが、異常ではありません。

◆ 空運転は30秒以上行わないでください。

☆ ポンプが破損する恐れがあります。

- ① 作業が終わりましたらトリガーを放し噴射を停止してください。
- ② 1～2分程度、無負荷で低速運転させた後、エンジンを停止してください。
- ③ タンクから吸水ホースとストレナーを取り出してください。
- ④ 一度ガンのトリガーを引いて、高圧ホース内の圧力を解放し、ガンを取り外してください。
- ⑤ エンジンのリコイルスタータのノブを重く感じる位置までゆっくり引き、元の位置まで戻してください。
- ⑥ ポンプから高圧ホース、吸水ホースを取り外してください。

## 3. 保守・点検

### 危険



◆ 作業終了直後に保守・点検を行わないでください。ポンプ、エンジン共に高温になっており火傷をします。

◆ オイル交換後は確実にドレンプラグとオイルキャップを締めてください。



◆ 修理技術者以外は絶対に分解しないで下さい。

◆ 改造は絶対に行わないで下さい。

# 高圧洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

高圧洗浄機をいつも調子よく使い、長持ちさせるためには日常の手入れが大切となります。点検時間はこのページの定期点検表にしたがって励行してください。●印は技術や特殊工具が必要ですので、お買い上げの販売店や弊社営業所に問い合わせください。

## 定期点検表

項目	運転時間					
	毎日	20時間ごと	50時間ごと	100時間ごと	200時間ごと	300時間ごと
各部ボルトナットの点検・締め付け	○					
バルブの点検						●
シールの交換						●
プランジャの交換						●
エンジンオイルの点検・補充	○					
エンジンオイルの交換		○ ※1	○ ※2			
ポンプオイルの点検・補充	○					
ポンプオイルの交換			○ ※1		○ ※2	
油漏れの点検	○					
エアクリーナの清掃		○ 25時間ごと (ホコリの多い場所で運転する場合は、早めに清掃する)				
ラインフィルタの清掃			○			
点火プラグの点検・清掃				○		
気化器の点検・清掃				●		
吸排気弁隙間調整					●	

※1：第1回目    ※2：第2回目    ※3：第3回目

# HIGH PRESSURE CLEANER 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 3-1) エンジンの点検

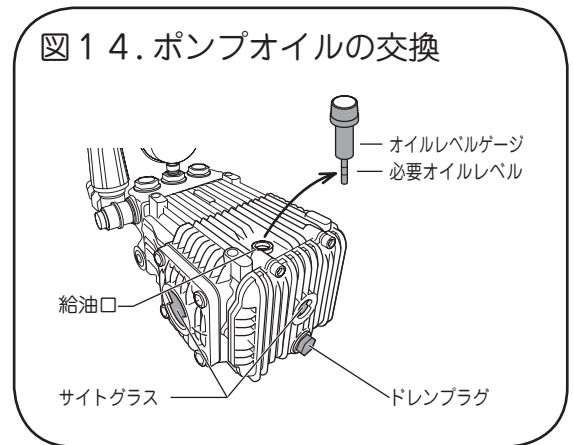
- ① エンジンオイルの点検・補給は、エンジンの取扱説明書にしたがってください。  
 ☆エンジンオイルが汚れていたり、少なかったり、品質の悪いオイルを使用するとエンジンの寿命が短くなるおそれがあります。常に良質できれいなオイルを規定量保つように心がけてください。
- ② 点火プラグやその他の点検・調整・交換はエンジンの取扱説明書に従って行い、何か以上がある場合にはお買上げの販売店や弊社視点、営業所まで連絡をお願いします。

エンジンオイル 交換時期	1回目	運転 20 時間後
	2回目以降	運転 50 時間後
オイルの種類		4 サイクルエンジンオイル SAE-10W30

## 3-2) ポンプオイルの点検 (図14)

- ポンプのオイルレベルゲージでオイルの色を確認してください。白濁・変色している場合は、交換時期に達していなくてもポンプオイルを交換してください。
- ポンプの下にオイル受けを用意し、ポンプ下側のドレンプラグを取り外してポンプオイルを抜いてください。
- オイルが抜けましたら、ドレンプラグを確実に締め、給油口からオイルを入れてください。

☆ オイル交換の時期、オイルの種類は下表に従ってください。



ポンプオイル 交換時期	1回目	運転 50 時間後
	2回目以降	運転 200 時間後
オイルの種類		4 サイクルエンジンオイル SAE-10W30

# 高压洗浄機 16/150G・GP、15/200G・GP、21/90G・GP

## 3-3) ストレーナおよびラインストレーナの点検

### 3-3-1) 高压洗浄機□□/□□□G (図15、16)

- 本機には、水の中に含まれているゴミなどを取り除くために、吸水ホースのストレーナを設けています。ストレーナが詰まると下記のような症状が発生しますので、定期的に点検し、清掃してください。
  - ・まったく吸水しない。または、断続的に吸水している。
  - ・高压ホースが異常に振動する。
  - ・圧力が規定値まで上昇しない。または安定しない。
- 点検・清掃はラインストレーナやストレーナの金網を損傷させないように慎重におこなってください。万一損傷がある場合は、必ず新品と交換してください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合は、使用前にストレーナを清掃・点検してください。
- 本機は、吸水ホースのストレーナのほかに、ポンプの吸水にラインストレーナを装備しています。これは、より細かいゴミなどの異物を取り除くためのもので、時々点検、清掃を実施してください。

図15. ストレーナの清掃

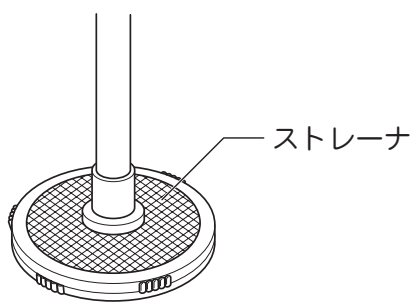
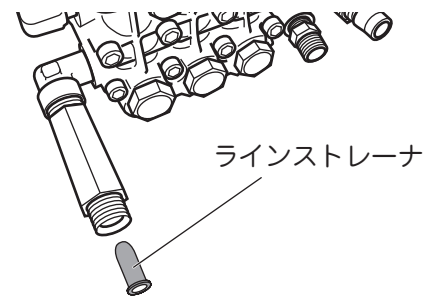


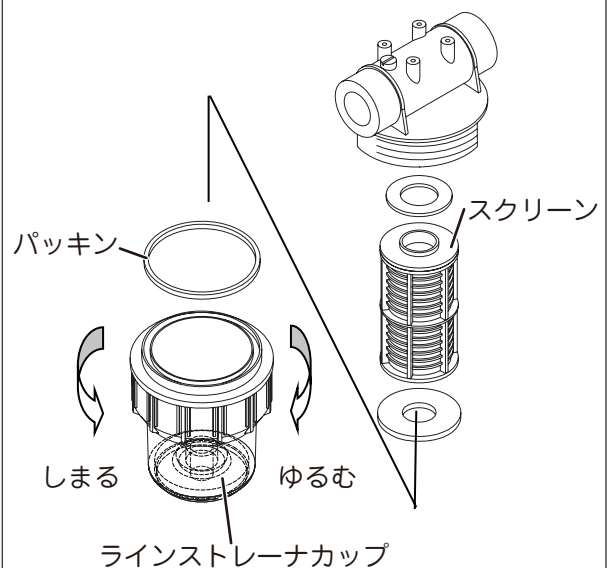
図16. ラインストレーナの清掃



### 3-3-2) 高压洗浄機□□/□□□GP (図17)

- ① ラインストレーナ本体より、ラインストレーナカップを取り出します。ラインストレーナカップは、反時計回りに回すとゆるみます。
- ② ラインストレーナカップより、スクリーンを取り出します。
- ③ スクリーンに破れ、損傷、ゴミ詰まりがないか点検します。
- ④ スクリーンに破れ、損傷がある場合は交換してください。また、ゴミなどが付着している場合は取り除いてください。特にスクリーン内側には、絶対にゴミが混入しないようにしてください。
- ⑤ 取り付けの際は、スクリーンの穴とラインストレーナ本体及びラインストレーナカップの凸部を合わせて取り付けてください。

図17. ラインストレーナカップの清掃





## ⚠ 注意

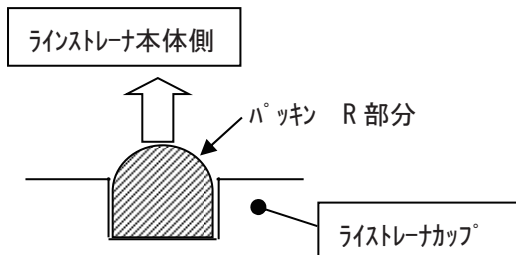


- ◆ ラインストレーナ清掃時カップのパッキンの損傷、紛失に十分注意してください。パッキンを損傷、紛失しますと空運転による重大な故障の原因となります。

## ⚠ 注意



- ◆ 運転前には、エア抜きプラグが閉まっているか確認してください。時計回り方向に回すと閉まります。  
通常はエア抜きプラグは操作しないで下さい。エア抜きプラグを開いたまま運転すると、空運転による重大な故障の原因となります。
- ◆ 運転前には、ラインストレーナカップが閉まっているか確認してください。ラインストレーナカップが閉まっていないまま運転すると、空運転による重大な故障の原因となります。



### ※パッキン組み付け時の注意事項

パッキンには方向性が有ります。組み付けの際には、パッキンのR部分がラインストレーナ本体側になるように組み付けてください。

### 3-4) デュアルガンおよび洗管ホースのノズルの清掃

- デュアルガンのノズル穴が詰まった場合には、ノズル穴に細い棒などを差し込んで、回しながら詰まりを取り除いてください。ノズル穴を棒などで清掃しても詰まりが取れない場合は、お買上げの販売店、弊社視点、営業所へ連絡をお願いします。
- ノズルは消耗品です。他の部品に異常がなくてもノズルが消耗することにより、圧力が低下することがあります。圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられます。交換頻度は、使用時間、水道水のミネラル類の含有物によって異なりますが、およそ圧力が規定値の85%以下になったら交換が必要です。

### 3-5) その他の点検作業

- 高圧ホースの損傷、接続部の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買上げになった販売店などにご連絡してください。
- 高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれているOリングやバックアップリングに損傷がないことを確認してください。

## 4. 修理・サービスを依頼される前に

- 高压洗浄機の調子が悪いときは、修理・サービスを依頼される前に、次の順序で点検を行ってください。点検された上で、なお異常のある場合や不安定な箇所がありましたら、そのままの状態にして、お買い上げの販売店または弊社営業所へご相談ください。

状 況	原 因	処 置
吸水しにくい。 吸水しない。	・吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。	・ストレーナを完全に水中に沈める。 ・清水を補給する。(タンク内に)
	・ストレーナ・ラインストレーナの目詰まり。	・ストレーナ・ラインストレーナを清掃する。
	・吸込み揚程が大きすぎる。	・吸込み揚程を1.5m以内にする。
	・吸水ホースの接続不良。	・ホースの接続を確実にする。 ・パッキンを確認する。
	・吸水ホースの損傷。	・吸水ホースを交換する。
	・吸水・吐出バルブの作動不良。 ・ゴミの詰まり。	・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。
圧力が上がらない。	・ストレーナ・ラインストレーナの目詰まり。	・ストレーナ・ラインストレーナを清掃する。
	・吸水ホースの接続不良。	・ホースの接続を確実にする。 ・パッキンを確認する。
	・吸水・吐出バルブの作動不良。 ・ゴミの詰まり。	・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。
	・プランジャパッキンの損傷。	・プランジャパッキンを交換する。
	・不適切なガン、ノズルを使用。	・適切なガン、ノズルを使用する。
	・ノズル穴の磨耗。	・ノズルを交換する。
	・圧力調整の不良。	・圧力調整を行う。
圧力が安定しない。	・吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。	・ストレーナを完全に水中に沈める。 ・清水を補給する。(タンク内に)
	・ストレーナ・ラインストレーナの目詰まり。	・ストレーナ・ラインストレーナを清掃する。
	・吸水ホースの接続不良。	・ホースの接続を確実にする。 ・パッキンを確認する。
	・吸水・吐出バルブの作動不良。 ・ゴミの詰まり。	・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。
エンジンが始動しない。	・エンジン取扱説明書を参照してください。	



## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号:

購入年月日:      年      月

お買い求めの販売店:

# Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イイシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土日祝日は除く)

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社

台湾浅田股份有限公司

アサダ・アーロンコ マシナリー社

アサダ・ベトナム社

(バンコク)

(台北)

(クアラルンプール)

(ホーチミン)

アサダ・インド社

上海浅田進出口有限公司

アサダ USA

(ムンバイ)

(上海)

(カリフォルニア)

工 場

犬山工場

アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)

アサダ・マンナリー社 (バンコク)

(愛知県・犬山市)

[www.asada.co.jp](http://www.asada.co.jp)

Ver.02 コード No. IM0407 A